

2021年5月16日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第64巻第7号(通算3235号)  
教会設立 1959年6月14日

# しゅうほう 週報

教会標語

かみさま ひと とも  
神様がすべての人と共に  
おられる  
ことを証ししていく教会



〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

主任担任教師・牛田 匡 牧師

担任教師・水谷 憲 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

私は知っている。／私を贖う方は生きておられ／後の日に塵の上に立たれる。(ヨブ記 19:25)

## 復活節 第7主日礼拝

### (アジア・エキュメニカル週間)

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そう もくとう  
前 奏 黙 禱

まね ことば  
招きの詞

しよ  
エレミヤ書

しよ せつ  
10章 10a, 12節

しんと てがみ  
エフェソの信徒への手紙

しよ せつ  
4章 6節

さんび か ばん せつ せつ  
賛美歌 21-287番「ナザレの村里」(1-3節)(©教団讃美歌改訂委員会)

せいしよ ふくいんしよ  
聖書 ルカによる福音書

しよ せつ  
24章 36-53節

いの  
お 祈 り

さんび か ばん せつ せつ  
賛美歌 21-287番「ナザレの村里」(4-6節)(©教団讃美歌改訂委員会)

しんじつ め そ  
メッセージ 「真実から目を逸らさない」

うしだ ただし ぼくし  
牛田 匡 牧師

さんび か しんせいさんびか ばん きょうかい しよ にほん れんめい  
賛美歌『新生讃美歌』363番「キリスト、教会の主よ」(©日本バプテスト連盟)

しよ いの ばん てん わたし ちち せつ  
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讃美歌改訂委員会)

ささげもの  
献 げ 物 (\* )

は け ん ばん かみ めぐ う せつ  
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅく ふく  
祝 福

うしだ ただし ぼくし  
牛田 匡 牧師

こう そう ばん  
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©著作権消滅)

ほう こ ぐ  
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた きさ  
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 エレミヤ書 10章 10a, 12節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>10</sup> 主は真実の神、命の神、永遠の王。

<sup>12</sup> 力によって地を造り

知恵によって世界を固く据えられた方。

この方が英知によって天を広げられた。

エフェソの信徒への手紙 4章 6節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>6</sup> すべてのものの父なる神は唯一であって、すべてのものの上であり、すべてのものを貫き、すべてのものの内におられます。

聖書 ルカによる福音書 24章 36-53節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>36</sup> こう話していると、イエスご自身が彼らの真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。<sup>37</sup> 彼らは恐れおののき、霊を見ているのだと思った。<sup>38</sup> そこで、イエスは言われた。「なぜ、取り乱しているのか。どうして、心に疑いを抱くのか。<sup>39</sup> 私の手と足を見なさい。まさしく私だ。触ってよく見なさい。霊には肉も骨もないが、あなたがたが見ているとおり、私にはあるのだ。」

<sup>40</sup> こう言って、イエスは手と足をお見せになった。<sup>41</sup> 彼らが喜びのあまりまだ信じられず、不思議がっていると、イエスは、「ここに何か食べ物があるか」と言われた。<sup>42</sup> そこで、焼いた魚を一切れ差し出すと、<sup>43</sup> イエスはそれを取って、彼らの前で食べられた。

<sup>44</sup> イエスは言われた。「私がまだあなたがたと一緒にいたときに、語って聞かせた言葉は、こうであった。すなわち、私についてモーセの律法と預言者の書と詩編に書いてあることは、必ずすべて実現する。」<sup>45</sup> そしてイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心を開いて、<sup>46</sup> 言われた。「次のように書いてある。『メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。<sup>47</sup> また、その名によって罪の赦しを得させる悔い改めが、エルサレムから始まって、すべての民族に宣べ伝えられる。』<sup>48</sup> あなたがたは、これらのことの証人である。<sup>49</sup> 私は、父が約束されたものをあなたがたに送る。高い所からの力を身に着けるまでは、都にとどまっていなさい。」

<sup>50</sup> それからイエスは、彼らをベタニアまで連れて行き、手を上げて祝福された。

<sup>51</sup> そして、祝福しながら彼らを離れ、天に上げられた。<sup>52</sup> 彼らはイエスを伏し拝んだ後、大喜びでエルサレムに戻り、<sup>53</sup> 絶えず神殿の境内にいて、神をほめたたえていた。

《先週の礼拝より》5月9日 家族の日（復活節第6主日）礼拝 水谷憲牧師

メッセージ「<sup>せみ</sup>蝉の声より <sup>ほたる</sup>蛍の光」より

聖書：マタイによる福音書 6章1-15節

「祈る時は、偽善者のようであってはならない」とイエスは言う。祈ることが人の賞賛を得るための手段となってはならない、人前で祈ることが必要になる場合もあるだろうが、「その行為によって『人から良く思われたい』『信仰深いと思われたい』という邪念が生まれないように気をつけよ」ということだろう。私が10年ほど前に出会ったアメリカ人女性は、「あなたもクリスチャンですか？」と尋ねられた時に、「そうです！ 私、毎日祈ってます！」と答えていた。毎日祈ってるかどうかなんて聞いてない。信仰深いと思われたいのだろう。

あなたは何のために祈るのか？ 皆に見せるために祈るのか？「さすがですねー」とか言われたいのか？ あなたは神様と話したいはずなのに、心が周りの目を意識し過ぎてしまっていないか？ あなたの周りにはいる子どもたちは、親と話す時に人目を意識して話しているだろうか？ いろいろ振り返ると、私も知らず知らずと周りを気にしていたのかも知れない。大事なものは言葉でも、周りから私がどう見えているかでもなく、神様に向き合う姿勢なのに。

「鳴く<sup>せみ</sup>蝉よりも鳴かぬ<sup>ほたる</sup>蛍が身を焦がす」ということわざがある。「思いを口に出して言う者よりも口に出さない者の方が、心の中ではいっそう思い焦がれているものだ」というような恋に関係する意味らしい。じわじわと必死に鳴く蝉も、暗闇で静かに光る蛍も、いずれも自分の思いを一生懸命伝えようとしているのだから、どちらが良いとか、蝉ではダメだとかいうことはない。ただ私は個人的には、暗闇で静かに思いを込めて光を放つ蛍のようでありたいと思う。いろいろと上手に言葉を操ることができなくとも、私は私なりに神様に向き合ってゆけばいいではないか。開き直るわけでは決してないが、ありのままの自分を大切にしよう。神様は、暗闇のかすかな光をもしっかりと見つけてくださる方。願わくは、その光を「ほらほらきれいでしょう！」と神様以外に向ける誘惑に負けないように気をつけたい。

今日は「家族の日」ということで、一つだけ付け加えたい。神様に対しては、蛍でもいいけれども、家族に対しては蛍ではいけない。人間に対しては、ちゃんと言わないと伝わらないので、蝉のように「いつもありがとう」「愛してるよ」って言葉を尽くして伝えた方がいい（自戒を込めて）。神様には蛍、家族に対しては蝉となって、愛と感謝の気持ちを伝えていこう。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (5月9日)

礼拝出席 大人 6名 (中継動画再生数 22回) 献金 大人 6,000円 感謝

◎次週 2021年5月23日(日) <sup>ペンテコステ</sup> 聖霊降臨日礼拝

招きの詞 ヨエル書 3章 1-2節  
 聖書 ヨハネによる福音書 14章 18-27節  
 使徒言行録 2章 1-13節



メッセージ 「見えない力によって生かされて」 牛田匡牧師  
 賛美歌 『アイオナ』「世の初め、鳥のように」、こ改 290番、こ改 34番、21-56番  
 礼拝はインターネットで中継配信いたします。

新型コロナウイルス感染予防のために、礼拝後の「愛餐会(昼食会)」はありません。礼拝後に、釜ヶ崎・いこい食堂支援のための「おにぎり作り」を行う予定です。どなたでもご参加ください。

◎お知らせ

- ・本日の礼拝後に、「聖書を読む会」を行います。テキストは『創世記』第29章で、コピーを配布いたします。お時間の許す方はどなたでもご参加ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、大阪府には「緊急事態宣言」が出されています(5月31日まで)。ご自身が感染しないためにも、また他人に感染させないためにも、そしてまた医療崩壊の現状を悪化させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。教会では換気やマスク着用など感染予防に留意しながら礼拝をいたしますが、教会にいらっしゃる際には、ご自身の体調にご注意いただいて、検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。またご希望の方にはご自宅までお届けいたします。ご遠慮なくお知らせください。
- ・5月24日(月) 18:00~19:30に、オンライン講演会「日本学術会議問題をキリスト教からどう見るか」が開催されます(西南学院大学神学部主催)。講師は昨年任命拒否を受けた6名の研究者の内の一人である芦名定道氏です。ZOOMでの公開講演会で、参加費は無料です。参加を希望される方は、事前に下記のURLかQRコードより、参加申し込みが必要です。

<https://forms.gle/nhPgJyMwEXG4Mn4J6>



◎ 次週以降の行事予定

	会場	メッセージ	行事
5/23	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	牛田牧師	ペンテコステ礼拝 (礼拝後の愛餐会は行いません) おにぎり支援
5/30		牛田牧師	誕生者祝福式
6/6		岡嶋伝道師	ユークリスト・教会を考える会
6/13		牛田牧師	教会創立記念礼拝・花の日子どもの日礼拝 (礼拝後の愛餐会については未定です)

日本学術会議問題を  
キリスト教からどう見るか

講演会

2021年5月24日(月)  
18:00~19:30

2020年11月、行政学問題研究会(旧日本学術会議)推薦した委員候補の内、6名の研究者の任命拒否しました。異議申し立ての具体的な理由を本誌に公開せず、各方面からの抗議にもかかわらず断り続けられています。これは国(の任命権)に対して断り続けることであり、学術会議は日本学術会議の地位を失う危険にさらされる可能性があります。西南学院大学神学部でもその内容を広く知ってもらうために本誌に本誌で取り上げました。そこで本誌、本誌の編集者(の)人、神学専攻会(の)役員(の)メンバーに依頼し、本誌はキリスト教からの視点を加え、どう見ればいいのかを語っていただきます。Zoomでの公開講演会(無料)です。どなた様もぜひご参加ください。

申込方法  
Googleフォーム - (<https://forms.gle/nhPgJyMwEXG4Mn4J6>)  
より参加申し込みをお願いします。

※本誌は公開講演会に招待されたが、残念ながら参加できない場合があります。  
※本誌は公開講演会に招待されたが、残念ながら参加できない場合があります。  
※本誌は公開講演会に招待されたが、残念ながら参加できない場合があります。

主催：西南学院大学神学部